

不妊治療の流れ

1. タイミング法 (一般不妊治療)

- ・エコー検査で卵胞の大きさなど確認し排卵日を予測します。必要に応じて注射、内服薬など処方します。
- ・受精しやすいタイミングをお伝えします。
- ・妊娠反応検査をします。
- ・妊娠成立に至らない場合は何回か同様の方法で治療を行います。
- ・ステップアップの時期となったら人工授精へ移行します。

2. 人工授精 (一般不妊治療)

- ・定期的に受診して注射や内服薬の処方をします。
- ・エコー検査で卵胞の大きさなど確認し排卵日を予測します。
- ・卵胞が育ち受精しやすい日に夫の精液を持参していただき精液調整の後人工授精を行います。
- ・妊娠反応検査をします。
- ・妊娠成立に至らない場合は何回か同様の方法で治療を行います。
- ・ステップアップの時期となったら体外受精へ移行します。

*精液所見や卵管疎通検査を行い人工授精での妊娠が難しい場合は人工授精を行わずに体外受精に移行する場合があります。

3. 体外受精 (生殖補助医療)

- ・月経周期に合わせて受診、生理3日目から連日注射を行います。
- ・エコー検査で卵胞の大きさなど確認し排卵日を予測します。
- ・卵胞が育ち採卵適性日に入院をして麻酔をかけて採卵を行います。*入院時間をご相談ください。
- ・培養士により持参していただいた精液を調整して体外受精を行います。受精卵は凍結保存します。
- ・体調良好ならば翌日退院です。*退院時間をご相談ください。
- ・採卵後は内服薬などの処方にて一旦生理周期をリセットします。
- ・新たな周期で人工周期（注射や内服薬などでホルモン調整を行います）にてエコー検査やホルモン検査を行い着床しやすい日を予測します。
- ・着床しやすい日に入院をして受精卵を子宮内に戻します。
- ・着床を促すために処方をします。
- ・妊娠反応検査をします。
- ・妊娠成立に至らない場合は何回か同様の方法もしくは別の方法での体外受精を行います。

*採卵ができない場合や採卵できても受精卵が得られない場合は新たな周期で次回採卵に向けて同様な治療を行います。